

その人らしい暮らしを支える／医療と介護で地域に根差す／医療法人社団 慶勝会の広報誌

赤門だより

vol. 60

特集

台風被害の経験と防災対策の見直し
～ 介護老人保健施設なのはな館みさき～



「台風被害の経験と防災対策の見直し」

介護老人保健施設なのはな館みさき

近年、地球温暖化の影響で自然災害による被害が大きくなっています。最近では熊本を中心に九州に甚大な被害をもたらした7月豪雨で老人福祉施設が被災し、多くの入所者が亡くなりました。当法人のある館山も昨年(2019年)9月9日、台風15号により大きな被害を受けました。

●台風15号接近、第一優先は利用者様の安全

当日みさきには119名の入所者様と緊急ショートステイをご利用の1名が滞在しており、夜間は看護師1名と介護士3名の夜勤担当者が勤務していました。

9日午前0時頃、凄まじい暴風雨が窓に吹き付け、外の様子が分からないほどでした。

台風15号は関東地方に上陸した台風としては観測史上最強クラス(中心気圧960hPa最大風速40m/s)の勢力で上陸。千葉県南房総地域を中心に暴風により多数の家屋や設備に甚大な被害を出し『令和元年房総半島台風』と名付けられ、激甚災害に指定されました。

あれから間もなく1年が経とうとしています。いまだに近隣の市や町では屋根にブルーシートがかけられたままの民家が多数みられます。

なのはな館みさき(以下みさきという)では、昨年の台風被害を振り返り防災備品の備蓄数や防

災対策の見直しを行いました。

当日みさきには119名の入所者様と緊急ショートステイをご利用の1名が滞在しており、夜間は看護師1名と介護士3名の夜勤担当者が勤務していました。

9日午前0時頃、凄まじい暴風雨が窓に吹き付け、外の様子が分からないほどでした。

しばらくして瞬間停電が起こり館内の電気が点いたり消えたりを繰り返したため、利用者様の安全を第一優先とし館内巡視と点検にあたりました。午前2時過ぎ雨漏りと停電が起きましたが、事前に発電機と非常用照明器具を準備していたため、暗闇になることはありませんでした。

さらに風が強くなり、巻き上げられた飛散物が4階談話室の大型窓ガラス(縦102cm×横224cm)にぶつかり、ガラスが割れ轟音



損壊した4階談話室のガラス窓



暴風にあおられ倒れたフェンス

とともに室内へ一気に暴風雨が吹き込み、4階フロアの談話室から回廊まで雨水が流れこみました。利用者様に怪我がないことを確認し、安全な療養室内に避難誘導

をした後に、浸水をくい止めるためタオルを敷き詰め堤防を造りました。

●長引く停電を経験し、照明器具・備蓄品を見直し

翌朝、施設の外は一変しており、フェンスが倒壊し20m離れたバス停の待合小屋が飛ばされ社用車にぶつかり窓が割れていました。

台風通過後も停電が続き発電機を4台使用し喀痰吸引器、非常用照明器具、送風機、業務用冷蔵庫・冷凍庫、介護食用の調理器具、携帯電話等通信機器の充電の電力供給を行いました。しかし、非常用照明器具が各階3基ではフロア全体をカバーすることができず暗い場所ができてしまいました。発電機の発電量を考慮し白熱灯電球からワット数を押さえたLED電球に替えることにより非常用照明器具を各フロア6基に増やすことができました。

被災時の食事の確保は重要な



上:発電機の操作訓練
下:防災備品の定期的な確認

ことですが、幸い2019年5月より調理済食材を導入していたため、業者が交通の便の悪い中1日おきに配達をしてくれ、大変助かりました。

台風発生時期は、気温・湿度が高めで食中毒を起こしやすい時期です。調理済食材は衛生管理され冷凍保存もでき、少ない職員でも食事を安全に提供することができます。

食料は冷凍パン・おやつなども含め7日分を備蓄しています。また、使い捨て食器として仕切りの

ある弁当箱を1日分用意していましたが、停電が長引き(4日間)購入が必要となってしまうため、現在は保管スペースをとらず様々な用途に使用出来る紙皿、プラスチックコップ、プラスチックのパック、使い捨てのお手拭も合わせて7日分備蓄をするようにしました。

飲料水の保管場所は4階倉庫の1か所のみでしたが、少ない職員でもスムーズに運搬ができ、破損時のリスクを回避するために、各階に十分な量を分散保管することとしました。

● たくさんのご支援と

職員の団結で乗り越える

台風15号は建物と車両の損壊、多くの箇所の通行止め、長期間にわたる停電、断水、固定電話、携帯電話、電子機器の通信障害など、これまでの想定を越え経験したことがない規模の災害でした。

地域の店舗では、流通の混乱により商品が不足し食料や物資が入手困難な状況の中、多くの利用者様やご家族、地域の方々から食料や物資、励ましのお言葉など物心両面でのあたたかいご支援を頂きました。職員一同団結してこの台風災害危機を乗り越えることができ、何よりも利用者様に被害が及んだり体調を崩すことなく過ごしていただけたことは幸いなことでした。また、日頃から停電を想定しての訓練を行っていた事で、実際の場面で慌てることなく行動ができた実感しています。

● 被災経験から学んだことを活かす、より安全な環境の提供のために

翌月に発生した台風19号では再度停電が発生しましたが、2日

後に四国電力から大型発電車が当施設に到着し、館内の総電力を賄って頂き通常の施設運営を行うことができました。

近隣では停電が続いていたため、施設の浴場をご近所の皆様へ開放いたしました。日頃から近所の皆様には、災害訓練や納涼祭、餅つき大会に参加いただき地域交流を行ってまいりましたので、お馴染みの皆様へのお風呂の提供は大変喜んでいただけました。

この台風被害では、自衛隊、全国の電力会社の方々が南房総地区に駆け付け、地元自治体の皆様とともに昼夜を問わず復旧作業に尽力して下さいました。改めまして皆様に心よりお礼を申し上げます。

被災経験の中から学んだ「人と人との助け合いの大切さ」、「災害に対する事前の備え」、「各職員の日頃からの防災意識の重要性」を施設運営に活かし利用者様がより安全に過ごしていただける環境を提供できるよう精進していきます。

赤門整形外科内科 ご利用案内 (2020年8月時点)

- 診療時間
月～金 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～18:00
土曜日 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～17:00
- リハビリテーション
月～金 8:30～19:00
土曜日 8:30～17:00
- 外来受付時間
月～金 8:30～18:00
土曜日 8:30～17:00
- 休診日
日・祝・祭日、年末年始
(12月30日～1月3日)



最新の外来予約はこちらのQRコードからご確認いただけます。



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・被爆者一般疾病医療機関・公害・難病指定医・身体障害者福祉法指定医・難病指定医療機関

医療法人社団 慶勝会 事業所一覧

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼 1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田 110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条 2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼 1637-1
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

館山市地域包括支援センターいちご

〒294-0043 千葉県館山市安布里 237-3
TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116

館山市認知症初期集中支援チームおれんじ

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-29-5301 FAX. 0470-29-5302

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼 1599 番地 1、1 階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

赤門保育所

はじめに



私たち医療法人社団 慶勝会は、明治21年（1888年）産婦人科「赤門鈴木医院」の開設を礎として、時代ごとに地域のニーズにお応えすることを使命とし、これまで取り組んでまいりました。これからもこの使命を全うし続けてゆくためにも、絶えず邁進してまいります。

赤門の由来

江戸時代に南部藩（現在の盛岡）の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は、交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り（庇）を許されました。この朱塗りの門すなわち「赤門」が名称の由来として今日まで継承されています。



この一枚



2020年7月館山野鳥の森公園富士見展望台から撮影。台風15号から1年で以前のような街並みを取り戻しつつあります。この自然豊かで穏やかな街並みが変わらず続くことを願いシャッターをきりました。

医療法人社団 慶勝会広報誌「赤門だより」通巻60号
発行・責任：「赤門だより」編集発行室
千葉県館山市沼1599番地1、1階
TEL.0470-25-7300 FAX.0470-25-7301
ホームページ：<https://www.keishokai.or.jp>
発行日：令和2年8月15日（年3回）
編集・印刷・写真：管理部 総合企画